

リニア新駅と県内各地のアクセス

リニア活用基本構想に基づき、リニア新駅と県内各地とを結ぶアクセス網の検討

- リニア新駅は、本県の主要な交通結節点として重要な役割
- マイカー利用とともに公共交通でも使いやすい新駅とするため、県内のバスネットワークの再編整備を行うことが必要



圏域毎のバス交通ネットワーク

マイカー利用の拡大等により、県内のバス交通は、非常に厳しい経営状況に直面

- 各地域におけるバス交通の衰退
 - ・広域幹線路線の採算悪化
 - ・地域内路線の衰退
- 将来ニーズに対応した公共交通網が必要
 - ・住民の移動ニーズに対応した交通網の検討
- 新たな交通モードとの整合性の確保
 - ・デマンド交通・コミュニティバスとの競合
 - ・国の施策への対応



交通政策会議にバスネットワーク検討専門部会を設置し、リニア新駅と県内各地のアクセスと、各圏域の地域内バス交通ネットワークについて検討する

検討の進め方

検討の進め方

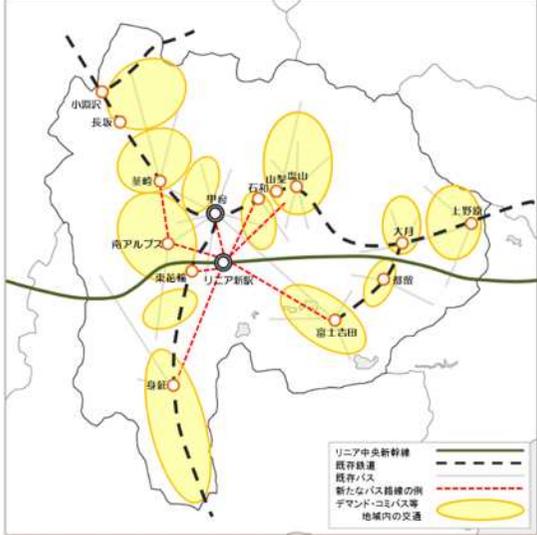
リニア活用基本構想に基づき、リニア新駅と、県内各地の地域拠点とを結ぶ、「全県的な広域幹線ネットワーク」について検討

併せて、県内をいくつかの圏域に区切り、地域内バス交通ネットワークについて検討

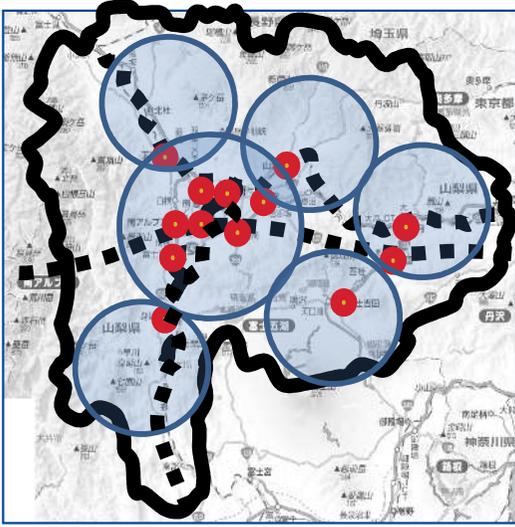
具体的な路線については、現在実施している「地域バス路線検討会」を専門部会のワーキンググループ的な組織として位置づけ、広域幹線バスネットワークとの整合性や、各圏域内のバスネットワークのあり方等について検討する（今後2ヶ年程度で県下全域の検討結果が出揃う予定）

地域内、地域間のバス交通の将来的なあり方を総括し、山梨県内のバス交通ネットワークの目指すべき方向をとりまとめる。

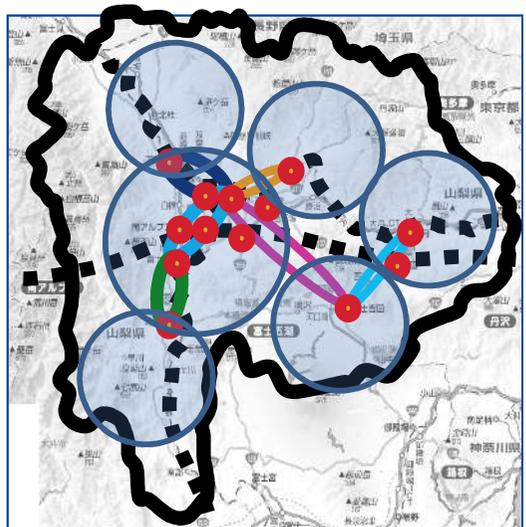
全県的な広域幹線バスネットワーク



圏域毎のバス交通ネットワーク



全県的なバス交通ネットワークの目指すべき方向



検討の進め方

全県的な幹線ネットワークと、地域内のバス路線ネットワークを、整合集約することで、本県の将来的な公共交通網の目指すべき姿としていく。

